

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成20年 3月 12日

## 【評価実施概要】

事業所番号	0171401680		
法人名	有限会社ハマダコーポレーション		
事業所名	グループホームおもひで・懐		
所在地	函館市山の手2丁目5番16号 (電話) 0138-30-1122		
評価機関名	北海道社会福祉協議会		
所在地	札幌市中央区北2条西7丁目1番地		
訪問調査日	平成20年1月16日	評価確定日	平成20年3月12日

【情報提供票より】(19年11月1日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成17年10月11日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤 15人, 非常勤 1人, 常勤換算	15.6人

### (2) 建物概要

建物構造	木造		
	2階建ての	1~2	階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	33,000 円	その他の経費(月額)	23,000~28,000 円
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	300 円	昼食 450 円
	夕食	450 円	おやつ 100 円
	または1日当たり 1,300 円		

### (4) 利用者の概要(11月1日現在)

利用者人数	18 名	男性 5 名	女性 13 名
要介護1	3	要介護2	4
要介護3	6	要介護4	5
要介護5	0	要支援2	0
年齢	平均 85.3 歳	最低 70 歳	最高 99 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	菅原内科クリニック・函館渡辺病院・吉田眼科・脳神経セントラルクリニック 他
---------	---------------------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当事業所は函館市内の閑静な住宅街に平成17年に開設された。職員は利用者のこれまでの思い出を大切にしながらこれからの思い出を共に作りたいとの願いをこめ、理念を追求しながら日々のケアサービスを実践している。また、内部・外部研修にも積極的に参加しており、更なるケアサービスの質の向上に取り組んでいる。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価における課題であった地域との交流については、町内の行事に参加したりボランティア来訪を受けるなど、改善に取り組んでいる。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	全職員で項目ごとに検討し、自己評価に取り組んでいる。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	2ヶ月に1度運営推進会議を開催し、家族・行政等の意見や情報を収集し事業所の運営に反映させている。また、議事録を整備し今後の会議開催に活かすとともに、会議案内文に事業所の行事の際の撮影写真を掲載するなど工夫している。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	家族の来訪時に職員は積極的に声かけをし、意見・要望・苦情等を聞きだせるよう努めている。また、内部・外部の苦情相談窓口を明示し、家族に伝えている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	町内の清掃活動に参加したり、「大正琴」のボランティア来訪を受けるなど地域との交流を図っている。

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念の共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「思い出を一緒につくること」を盛り込んだ事業所独自の理念をつくりあげ、日々実践に取り組んでいる。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎朝のミーティング時や、月に1度の全体会議開催時に理念を確認し、その実践に取り組んでいる。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内の清掃活動に参加したり、大正琴のボランティア来訪を受け入れるなど、地域との交流に努めている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	全職員が自己評価・外部評価の意義を理解しており、項目ごとに検討しながら全員で取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	2ヶ月に1度運営推進会議を開催し、重要性を認識しながら構成員と活発な意見交換を行い、事業所の運営に反映させている。		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	必要に応じて市役所・保健所・地域包括支援センターに出向いて相談し、ともにサービスの質の向上に取り組んでいる。		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	事業所便りを発行し、利用者の暮らしぶり等について家族に報告している。また、金銭管理については出納帳や伝票を、家族の来訪時に確認してもらっている。	○	今後は定期的に事業所便りを発行して利用者の健康状態を家族に伝えるとともに、金銭管理についても出納帳のコピーを送付するなどし、定期的に家族に確認してもらうことが期待される。
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	職員は家族の来訪時に積極的に声かけをし、家族が意見・要望等を表出できるよう努めている。	○	内部・外部の苦情相談窓口を玄関ホール等に大きく明示し、家族が気軽に意見等を伝えられるよう工夫することが期待される。
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	福利厚生に関して職員の要望に応え、離職を最小限に防ぐよう努め、利用者との馴染みの関係を大切にしている。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>運営者は人材育成にも熱心に取り組んでおり、南北海道連絡協議会や保健所主催の研修会に参加する機会を設け、職員は積極的に受講している。また、「緩和ケア」研修にも参加する予定であり、更なる質の向上に取り組んでいる。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>南北海道連絡協議会のブロック会議に参加した際に同業者と交流し、サービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>事前に利用者本人・家族に事業所を見学してもらったり、話し合いを重ね、本人が納得してから入居となるよう工夫している。また、入居後も利用者が事業所の雰囲気に馴染めるよう配慮している。</p>		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀しみを共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は利用者と食事・買い物・家事等を一緒に行うことにより、互いに支え合う関係を築いている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1.一人ひとりの把握</b>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>職員は利用者の人格を尊重し、一人ひとりの希望や意向の把握に努めている。困難な場合は生活歴等をもとにその人らしい生活となるよう支援している。</p>		
<b>2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>家族の意見を取り入れ、ユニット会議で職員間で協議し利用者が安心して暮らせるような介護計画を作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>3ヶ月に1度の見直しを行うとともに、利用者や家族の状況変化に応じてそのつど話し合い、きめ細かに新たな介護計画を作成している。</p>		
<b>3.多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>家族が宿泊できるような体制を整えている。</p>	○	<p>今後、事業所の多機能性を活かせるような取り組みが期待される。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>協力医療機関での受診支援を行っている。また、隔週で医師の受診の機会を設けたり、電話で利用者の健康状態等について相談できる体制を築いており、適切な医療を受けられるよう支援している。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>重度化・終末期に向けての方針について、利用者本人・家族の意向を確認し、かかりつけ医にも情報を提供し、方針を共有している。</p>		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>職員は利用者のプライバシーに配慮しながら穏やかに対応している。また、個人情報の取り扱いにも十分に配慮し、適切に対応している。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>職員は利用者一人ひとりの体調や個性等を大切に、その人らしい生活となるよう支援している。</p>	○	<p>事業所では昼食後の挨拶をそろって行っているが、今後、利用者の体調変化に伴うことも予測されることから、一人ひとりのペースを尊重して支援することが期待される。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の力量に応じて食事の準備や後片付け等を職員と一緒にやっている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	毎日の入浴が可能であり、利用者の希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるよう支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	掃除・洗濯物たたみ・編み物・ダンスなど、利用者の生活歴や好み・趣味等に応じた役割や楽しみごとの支援を行っている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩・買い物・ドライブなど、一人ひとりの希望に応じた外出支援を行っている。また、夏季にはソフトクリームを食べに外出するなど、楽しんで戸外に出掛けられるよう支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間は防犯上の理由から施錠しているが、日中は鍵をかけておらず、利用者が外出しそうな時は職員がさりげなく声かけをしたり付き添うなど工夫し、利用者の安全面に配慮しながら自由に入出りできるよう支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の協力を得ながら年に2回避難訓練を実施し、利用者も参加している。	○	今後、緊急時に地域からも協力が得られるような取り組みが期待される。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	職員は利用者の嗜好を考慮した献立を作成し、一人ひとりの健康状態に応じて食事量・水分量を確保できるよう支援している。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間はゆったりとしており、明るく清潔感が漂っている。また、観葉植物や花が飾られ、火鉢が置かれるなど、家庭的な雰囲気を感じ、利用者が居心地良く過ごせるよう工夫している。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には利用者が使い慣れた馴染みの家具・仏壇・写真等が持ち込まれており、本人が安心して過ごせるような空間となっている。		

 は、重点項目。